

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ああるまつりかフラワー		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 22日		2025年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 22日		2025年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外活動、室内活動共に体を使った活動を行ったり、制作などで手先を使った活動を行っている。	・外での活動では、祝日や長期休暇等の午前中に大きい公園に行き体を動かしたり、時間のある時は近隣の公園で活動を行ったり、室内ではサーキットなどで体幹を使った活動を行っている。 ・室内での活動では、その月の塗り絵や個人製作、全員で協力して作る制作活動を行っている。	外での公園活動や制作活動の内容で児童が飽きる事の無いような活動を今後も考えて行く。
2	本人の思いや自主性を大事に児童1人1人が自分でやりたいことや考えたこと、自由活動内での他児童とのルール決めを児童本人が決める職員が提供、支援を行っている。	危ないことやケガにつながるようなこと以外は、児童本人が活動できるように支援し、小規模な集団での活動、1人での活動等児童が自分自身で考えたことを支援している。	児童がいろいろなことに興味を持てるよう声かけ、促しをしつつ少しでも遊びの幅が広がるよう支援していく。
3	2024年12月より今まで10人定員だった所が新しく20名定員の事業所なり、小学校1年生～高校3年生の児童が関わり合い学び合える支援を展開出来るようになった	低学年～高学年まで同じ空間で過ごし、大きい児童は小さい児童との関りを覚えられるよう支援し、小さい児童は大きい児童の行動を見て学べるよう支援している	児童1人1人にあった声かけ、促し等の支援をより強化しその子にあった空間での学びをさらに深めていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	2024年12月より2事業所が合併し1事業所になり体制等が変わった	2事業所が一つの事情所になったためお互いの事業所の動きやコンセプトのすり合わせ等に時間を要している	施設内会議やその都度の申し送り等で2事業所等の特徴や支援内容の確認、話し合いなどを重ねそれぞれの良さを活かせる事業所作りをしていく
2	施設内が2分化されていてトイレが2つあるが空間の1つの部屋にしかトイレがない為トイレ介助、誘導時職員がついていきトイレ誘導の際、トイレのない室内での対応人数が少なくなってしまう。	新しく改築する際もともとあった部屋にのみトイレがあり新しく作った部屋にはトイレを設置しなかった。	安全かつ安心して通ってもらえるよう職員の動き等でバックアップしながら支援していく。
3	保護者会が開催できていない	コロナの影響等で開けていない時期からの流れでいまだ開催出来ていなかった。	今後開催できるよう日程調整、段取り等決めていき、開催出来るよう努力していく。